

ほけんだより 9月号

平成28年8月31発行
軽野保育園

元気いっぱい夏を過ごした子ども達。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り たっぴりの栄養と睡眠をとり、体調を崩さないように気をつけましょう。

とびひの増える季節です

とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。



主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

家庭での手当て

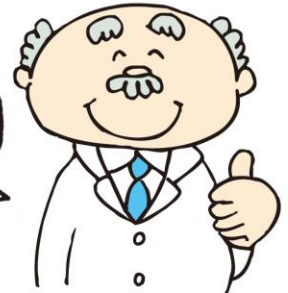
- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってから、ガーゼで覆う
- お風呂では湯船につからず、シャワーで洗い流して清潔を保つ
- 湯上がりはこすらずふき取り、薬を塗る



タオルの共有禁止!

患部が乾燥すれば、うつる心配はありません。じゅくじゅくしていたら、ガーゼで覆いましょう

症状がひどい時は抗生物質の内服が効果的です



9月1日 防災の日 / 9月9日 救急の日

もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などの非常用品を備えておきましょう。また、火事や地震が起こったらどのように行動したらよいのか、日頃からご家庭内で話をする機会があるとよいでしょう。

いざという時に慌てない為に、普段からの『イメージ』はとても重要です。保育園でも毎月避難訓練を実施しています。それに合わせてお子さんと、もしもの時の『家族の約束ごと』についてお話をしてみてもいいかもしれません。

● 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物

- 薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など
- 踏み台になる物はベランダに置かない
- コンセントなどをいたずらできないようにする
- 遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- 浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する

ちゃんと
点くかな~



非常食の賞味期限等も確認
してきましょう

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。